

# 第46期第2四半期連結累計期間 決算説明資料

(2011年4月1日 ~ 2011年9月30日)

株式会社 **工ノモト**

【会社名】 株式会社 **工ノモト**

【英訳名】 ENOMOTO Co.,Ltd.

【証券コード】 6928 **JASDAQ**

【URL】 <http://www.enomoto.co.jp/>

【代表者】 代表取締役社長 榎本 正昭

【問合せ先】 専務取締役 管理本部長 山崎 宏行

【E-Mail】 [ir@enomoto.co.jp](mailto:ir@enomoto.co.jp)

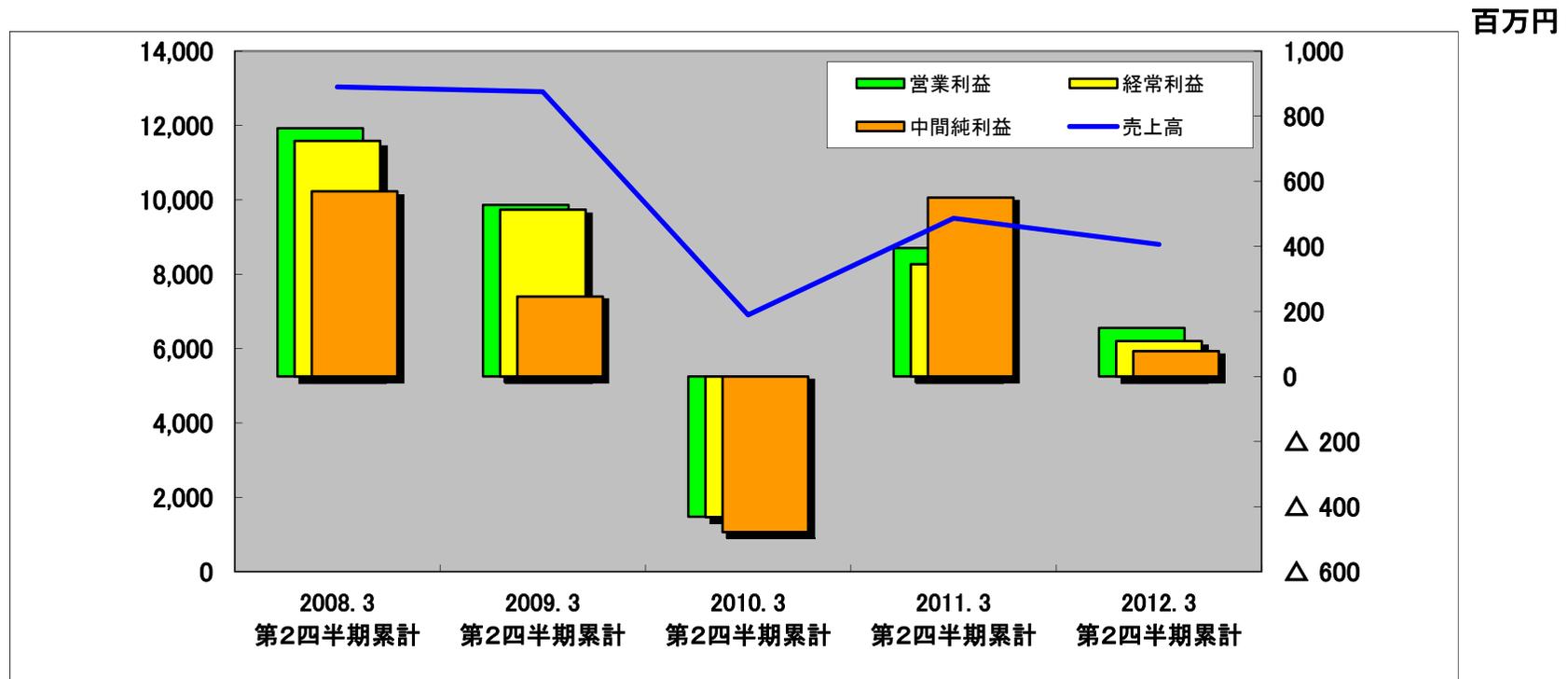
【本社所在地】 山梨県上野原市上野原8154-19

【電話番号】 0554(62)5111(代表)



第2四半期連結累計  
期間のご報告

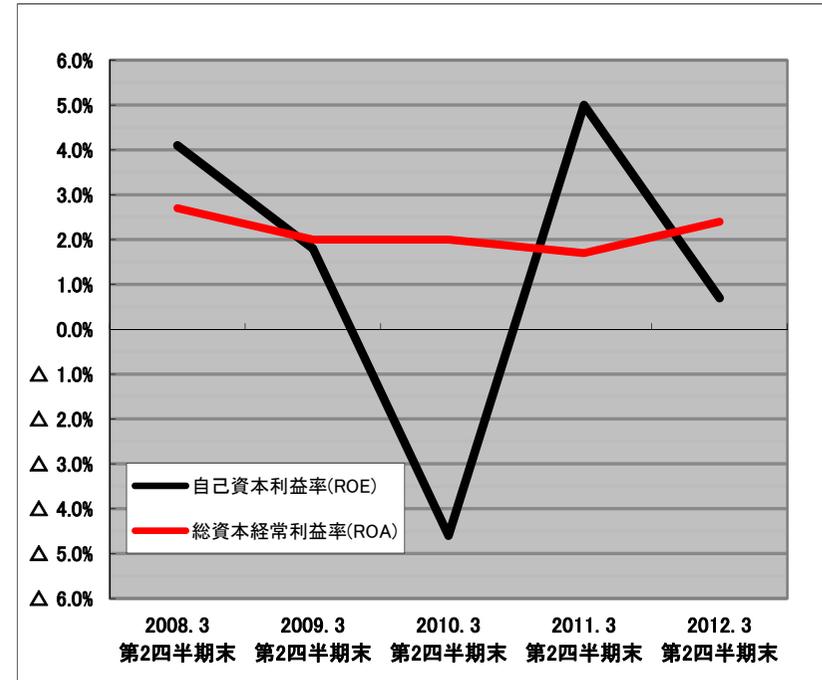
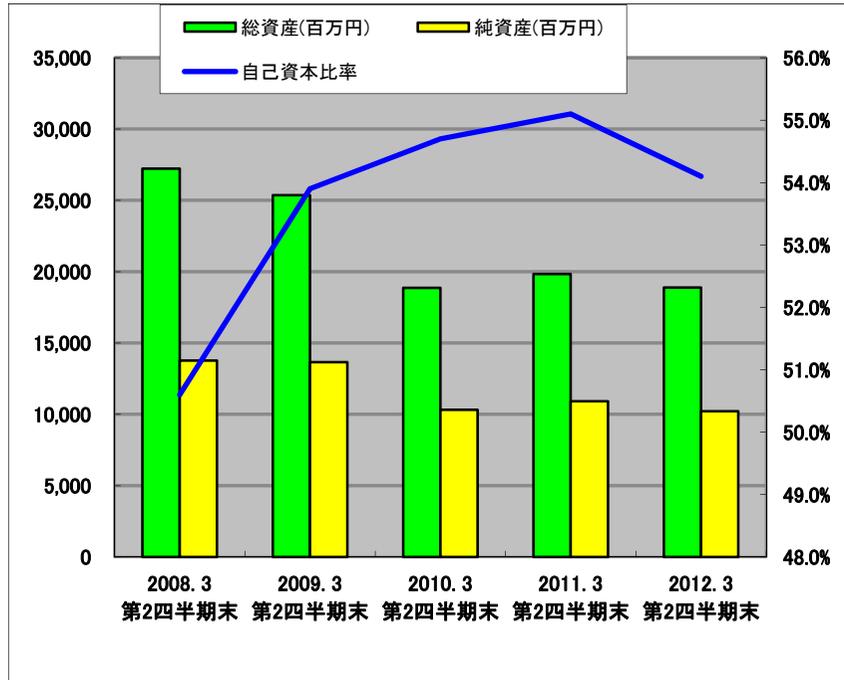
## ■ 連結業績の推移



	2008.3 第2四半期累計	2009.3 第2四半期累計	2010.3 第2四半期累計	2011.3 第2四半期累計	2012.3 第2四半期累計	前期比
売上高	13,036	12,903	6,907	9,505	8,800	7.4%減
営業利益	763	527	△ 431	395	149	62.2%減
営業利益率	5.9%	4.1%	-6.3%	4.2%	1.7%	2.5P減
経常利益	724	513	△ 432	345	109	68.2%減
経常利益率	5.6%	4.0%	-6.3%	3.6%	1.2%	2.4P減
四半期純利益	569	246	△ 478	550	78	85.8%減
四半期純利益率	4.4%	1.9%	-6.9%	5.8%	0.9%	4.9P減

# ■ 財政状態

百万円



	2010. 3 第2四半期末	2011. 3 第2四半期末	2012. 3 第2四半期末	2010. 3期末	2011. 3期末
総資産	18,866	19,834	18,889	19,228	18,606
純資産	10,319	10,923	10,213	10,617	10,211
自己資本比率	54.7%	55.0%	54.0%	55.2%	54.8%
自己資本利益率(ROE)	-4.6%	5.0%	0.7%	0.6%	2.1%
総資本経常利益率(ROA)	2.0%	1.8%	2.4%	0.2%	0.2%

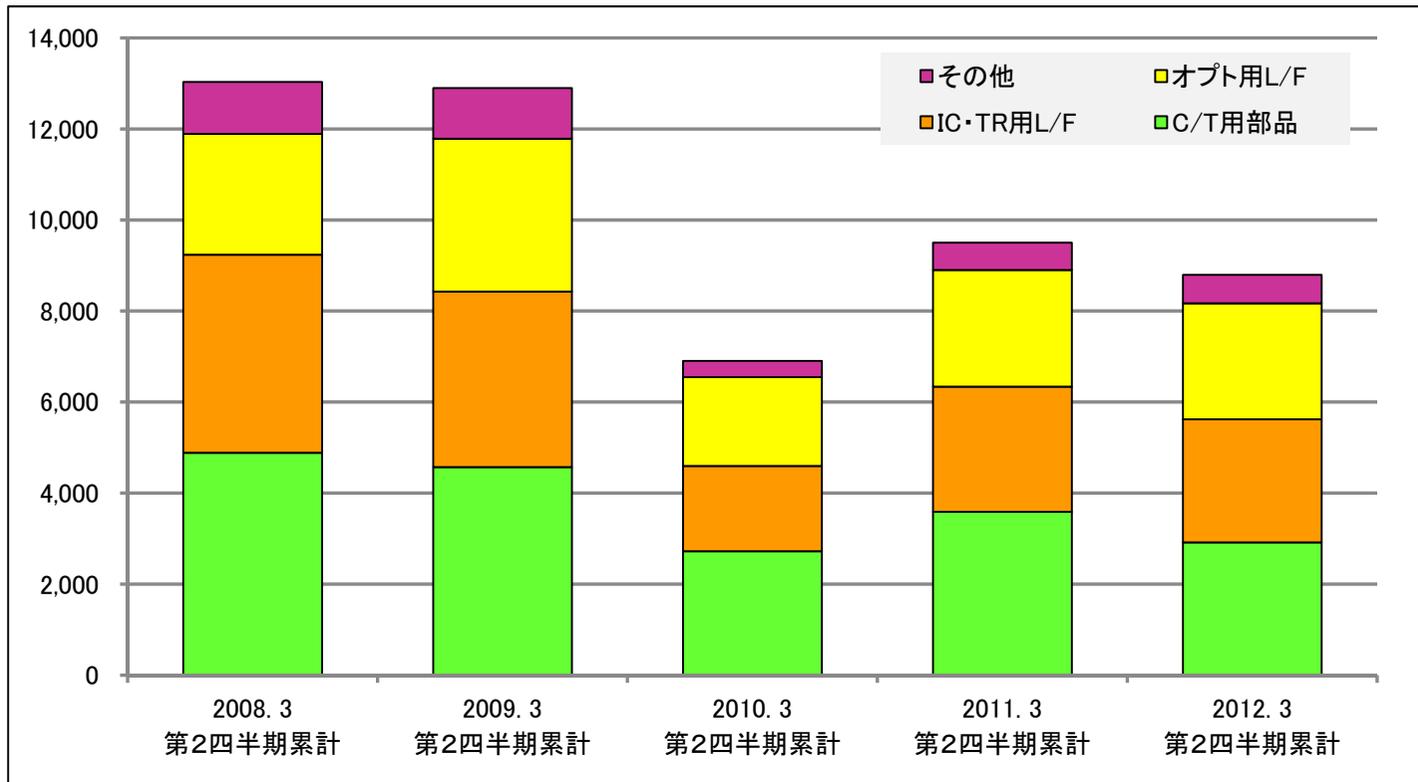
当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災と福島第一原発の事故等による急激な落ち込みから、サプライチェーンの復旧に伴い緩やかながら回復の動きがみられるものの、夏場の電力不足や原材料価格の大幅な変動に加え、長期化する円高、欧米経済の減速懸念などにより、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの主な需要先であります半導体・電子部品業界におきましては、総じて企業収益の悪化による設備投資抑制や雇用状況の悪化による消費の落ち込みの影響が継続している中、震災の影響による消費自粛の拡大により、自動車やIT・デジタル家電等を中心に需要は低調なものとなりました。更に中国・台湾等の新興国の部品メーカーを含めたグローバル競争の激化により、価格下降圧力が増大し、前期以上に厳しさの増す事業環境での推移となりました。

このような厳しい環境下において、当社グループは市場動向を見極めながら、積極的な営業展開を行うとともに、顧客のニーズに応えるべく生産性並びに品質の向上に注力して参りました。

しかしながら、業績につきましては震災の影響による売り上げの落ち込みをカバーするには至らず、当第2四半期連結累計期間の売上高は88億円(前年同期比7.4%減)となりました。営業利益は1億4千9百万円(同62.2%減)、経常利益は1億9百万円(同68.2%減)、四半期純利益は7千8百万円(同85.8%減)となりました。

■製品群別業績(売上高)



	2008. 3 第2四半期累計	2009. 3 第2四半期累計	2010. 3 第2四半期累計	2011. 3 第2四半期累計	2012. 3 第2四半期累計	前期比
IC・TR用リードフレーム	4,350	3,858	1,871	2,753	2,703	1.8%減
オプト用リードフレーム	2,655	3,356	1,954	2,562	2,550	0.5%減
コネクタ用部品	4,889	4,572	2,725	3,589	2,920	18.6%減
その他	1,140	1,116	355	600	625	4.3%増
合計	13,036	12,903	6,907	9,505	8,800	7.4%減

### ① IC・トランジスタ用リードフレーム

当製品群は、車載向け、民生機器向けが主なものであります。第1四半期におきましては、3月に発生した東日本大震災の影響による自動車生産に関わるサプライチェーンの混乱から一時的に車載用デバイス向け製品の需要の減退が見られましたが、事態の收拾にともない受注量も回復し、第2四半期以降も安定した受注を確保いたしました。その結果、当製品群の売上高は27億3百万円(前年同期比1.8%減)となりました。

### ② オプト用リードフレーム

当製品群は、LED用リードフレーム及びレーザー用部品が主なものであります。第1四半期におきましては、震災の影響によるサプライチェーンの混乱から、一時的に需要の減退が見られましたが、その後原発事故に伴う夏場の電力不足が懸念される中、これまで以上に消費者の節電志向が高まり、照明やディスプレイなどのLEDを使用した機器の需要が第2四半期以降も堅調に推移いたしました。その結果、当製品群の売上高は25億5千万円(同0.5%減)となりました。

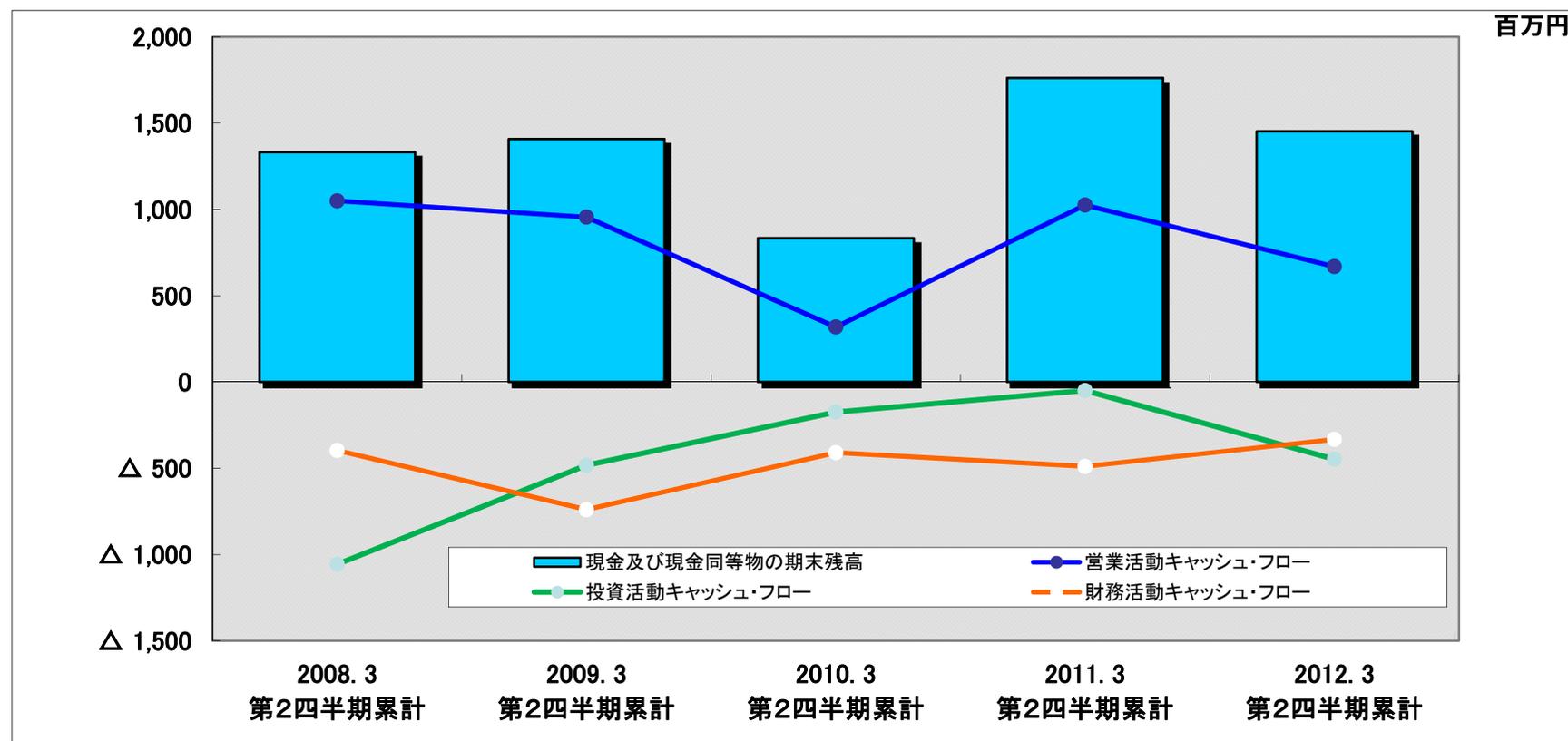
### ③ コネクタ用部品

当製品群は、携帯電話向け、デジタル家電向けが主なものであります。期初より震災にともなう消費者の自粛傾向が広がる中で、前期において市場を牽引して参りましたスマートフォンやデジカメ等のIT・デジタル家電の需要は、一部の商品を除いて総じて低調な推移となりました。その結果、当製品群の売上高は29億2千万円(同18.6%減)となりました。

### ④ その他

その他の製品群としては、リレー用部品が主なものであります。当製品群の売上高は6億2千5百万円(同4.3%増)となりました。

■ キャッシュ・フロー



	2010. 3 第2四半期累計	2011. 3 第2四半期累計	2012. 3 第2四半期累計	前期比	2010.3期末	2011.3期末
営業活動キャッシュ・フロー	318	1,025	668	△357	1,795	1,462
投資活動キャッシュ・フロー	△ 175	△ 51	△ 448	△397	△ 267	△ 596
財務活動キャッシュ・フロー	△ 410	△ 490	△ 333	157	△ 1,333	△ 541
現金及び現金同等物の期末残高	834	1,762	1,453	△309	1,296	1,557

当期における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結累計期間末に比べ3億8百万円減少し、当第2四半期連結累計期間末には14億5千3百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### ➤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は6億6千8百万円(前年同四半期比34.8%減)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益9千7百万円の計上、減価償却費4億9千2百万円及び仕入債務の増加6億5千万円による資金の増加、売上債権の増加2億2千7百万円及びたな卸資産の増加2億4千6百万円による資金の減少によるものであります。

### ➤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

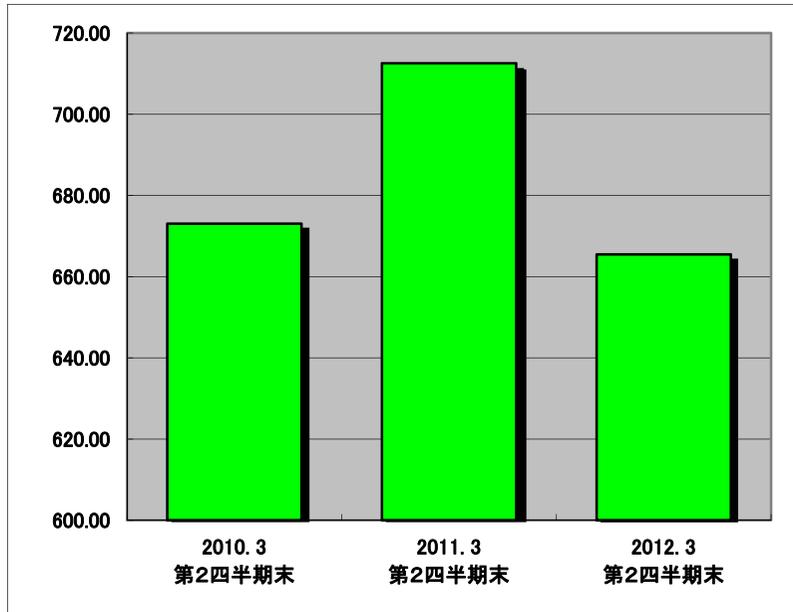
投資活動の結果使用した資金は4億4千8百万円(前年同四半期は5千1百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得4億5千9百万円によるものであります。

### ➤ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は3億3千3百万円(前年同四半期比32.0%減)となりました。これは主に長期借入金2億3千2百万円の返済及び社債の償還6千万円によるものであります。

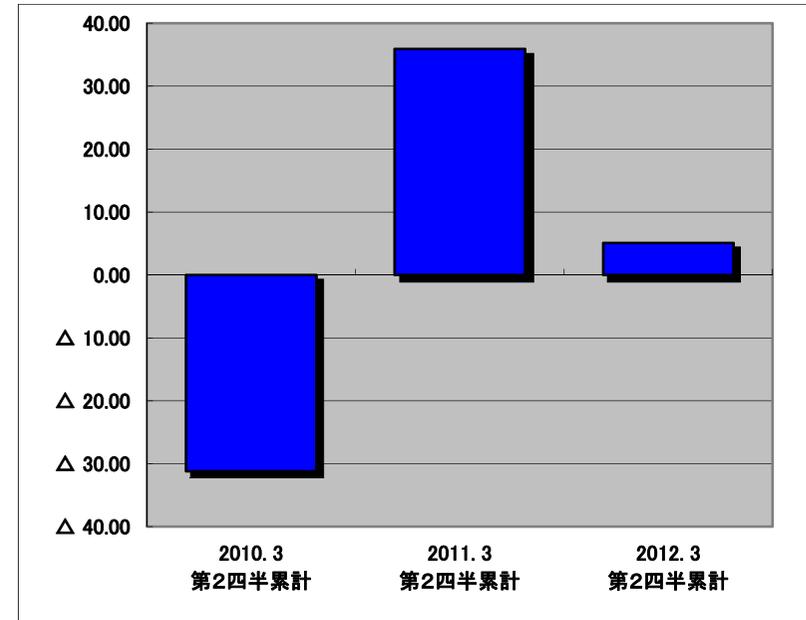
■ 1株当り指数

1株当り純資産(連結)



1株当り当期純利益(連結)

円



	2010. 3 第2四半期累計	2011. 3 第2四半期累計	2012. 3 第2四半期累計	2010. 3期末	2011. 3期末
1株当り純資産(連結)	673.06	712.54	665.47	692.54	666.13
1株当り当期純利益(連結)	△31.19	35.91	5.09	4.42	14.73

## ○配当について

株主の皆様への利益配当金について、当社は、株主に対する利益還元を経営の最重要政策と位置づけており、将来の事業展開と経営基盤の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当の継続を重視し、業績に裏付けられた成果の配分を行うことを基本方針としております。内部留保資金につきましては、電子部品業界における技術革新に対応するためタイムリーな製品開発に努め、成長に向けての有効な投資に活用してまいります。

当期の配当につきましては、中間配当金は1株当たり4円、期末配当金も1株当たり4円とし、当期の年間配当金は1株につき8円を予定しております。

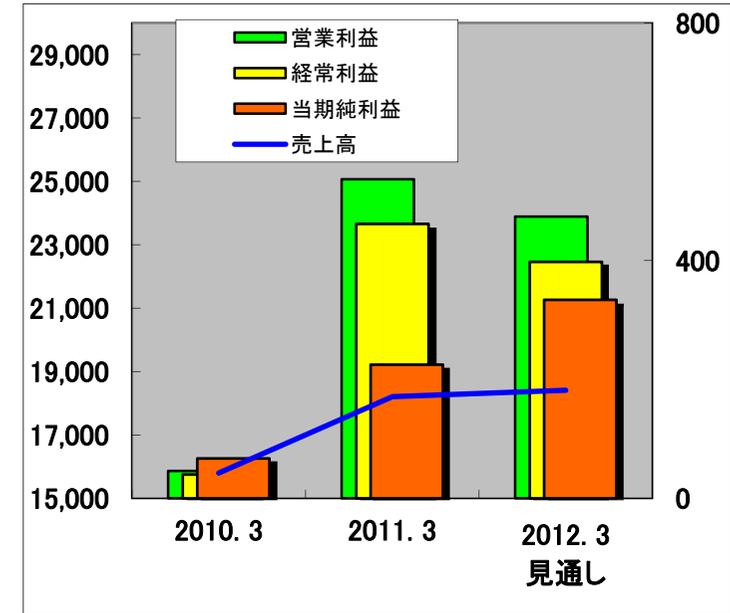
2012年3月期  
の見通し

## ■通期業績予想

### ●連結

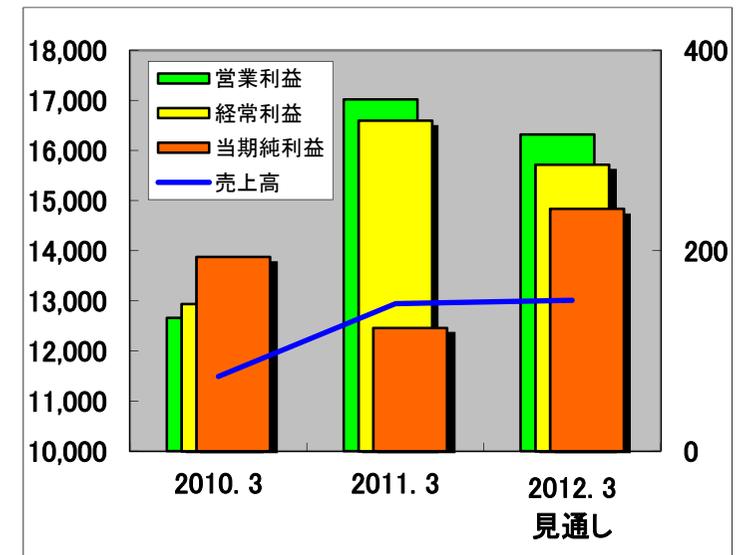
百万円

	2010 3期末	2011 3期末	2012. 3期末 見通し	前期比
売上高	15,795	18,204	18,406	1.1%増
営業利益	46	537	474	11.7%減
営業利益率	0.3%	3.0%	2.6%	0.4P減
経常利益	40	462	398	13.9%減
経常利益率	0.3%	2.5%	2.2%	0.3P減
当期純利益	67	225	334	48.4%増
当期純利益率	0.4%	1.2%	1.8%	0.6P増



### ●単体

	2010. 3期末	2011. 3期末	2012. 3期末 見通し	前期比
売上高	11,490	12,941	13,009	0.5%増
営業利益	133	351	316	10.0%減
営業利益率	1.2%	2.7%	2.4%	0.3P減
経常利益	147	330	286	13.3%減
経常利益率	1.3%	2.6%	2.2%	0.4P減
当期純利益	194	123	242	96.7%増
当期純利益率	1.7%	1.0%	1.9%	0.9P増



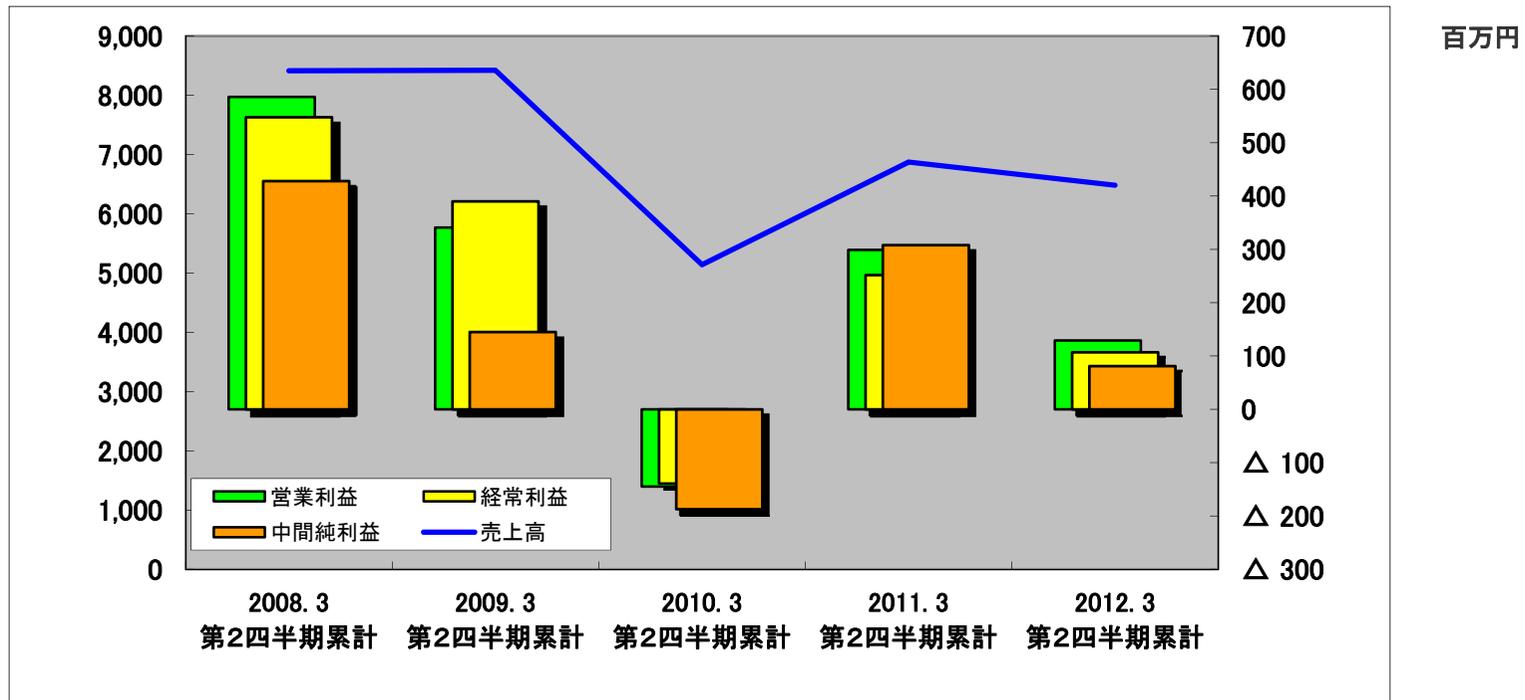
2012年3月期の見通しといたしましては、震災及び原発事故の影響による経済の落ち込みから緩やかに回復していくと思われませんが、EU諸国の金融不安及び欧米経済の低迷をはじめ、長期化する円高や材料価格の大幅な変動等、当社グループを取り巻く経営環境については不透明な状況が継続すると想定しています。

当社グループは、今年度からスタートした新中期経営方針である『経営品質の向上と新たな価値の創造』の実現に向かって、当社グループの全ての部門において具体的な行動計画を立て積極的に推進し、グローバル競争に打ち勝つ強い企業グループへと飛躍する重要な基礎固めの一年と位置付け全社一丸となって改革を実行して参ります。

なお、当社グループの平成24年3月期の通期の連結業績予想は、売上高は184億6百万円、営業利益は4億7千4百万円、経常利益は3億9千8百万円、当期純利益3億3千4百万円を見込んでおります。

補足資料

## ■単体の業績推移



	2010. 3 第2四半期累計	2011. 3 第2四半期累計	2012. 3 第2四半期累計	前期比	2010. 3期末	2011. 3期末
売上高	5,142	6,872	6,482	5.7%減	11,490	12,941
営業利益	△ 145	299	129	56.8%減	133	351
営業利益率	-	4.4%	2.0%	2.4P減	1.2%	2.7%
経常利益	△ 139	252	107	57.6%減	147	330
経常利益率	-	3.7%	1.7%	2.0P減	1.3%	2.6%
当期純利益	△ 187	308	81	73.6%減	194	123
当期純利益率	-	4.5%	1.3%	3.2P減	1.7%	1.0%



## 中期経営方針

### 経営品質の向上と 新たな価値の創造

『《高技術》×《高効率》×《高収益》企業を目指して』

### 2011年度 経営重点項目

- ・ 高品質なモノ造りの追求
- ・ 高い価値の提供
- ・ 製造技術の更なる向上

今春、2015年度までの5年間に当社グループの事業運営の指針となる、中期経営計画を作成いたしました。中計の初年度である2011年度の経営重点項目として左記の3項目を掲げ、当社グループの全ての部門において具体的な行動計画を立てて積極的に取り組んでおります。



### ①高品質なモノ造りの追求

当社グループはモノ造りの企業として、その時代で求められる市場ニーズにエノモト独自の高品質な技術を駆使し対応をはかって参りました。今後ますます市場ニーズは高度化していくと考えられますが、当社グループの直接部門・間接部門を問わず全ての業務において品質と生産性をより高いレベルで両立できるように努めて参ります。



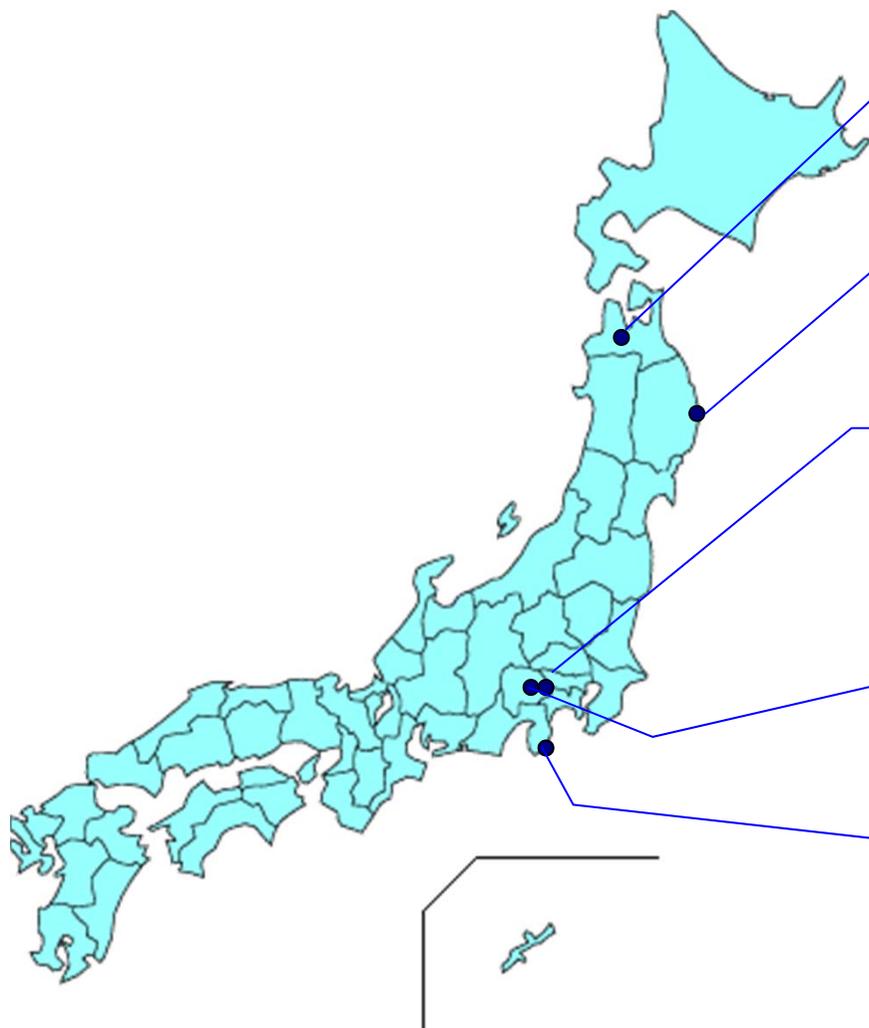
### ②高い価値の提供

顧客に対して製品とサービスの両面で期待以上の価値を提供し続けることに努力し、ユーザーの皆様から一番に選ばれるサプライヤを目指して参ります。

### ③製造技術の更なる向上

当社グループは創業以来、多くのプレス加工に関する新技術を開発し、打ち抜き加工・曲げ加工・絞り加工・モールド加工等広範囲のジャンルの金型技術を確立し、日本のモノ造りに貢献して参りました。今後においても、特に金属とプラスチックの微細複合加工技術をコア技術として、《高技術》×《高効率》×《高収益》なモノ造り企業を目指して、金型技術及び成形技術の更なる改善に愚直に取り組み続け、世界最高レベルの技術を目指して製造技術の向上を続けて参ります。





・津軽工場

青森県五所川原市大字漆川字玉椿191-1  
TEL.0173-33-0570 FAX.0173-34-5206

・岩手工場

岩手県上閉伊郡大槌町大槌第10地割39  
TEL.0193-42-8511 FAX.0193-42-8513

・本社/上野原工場

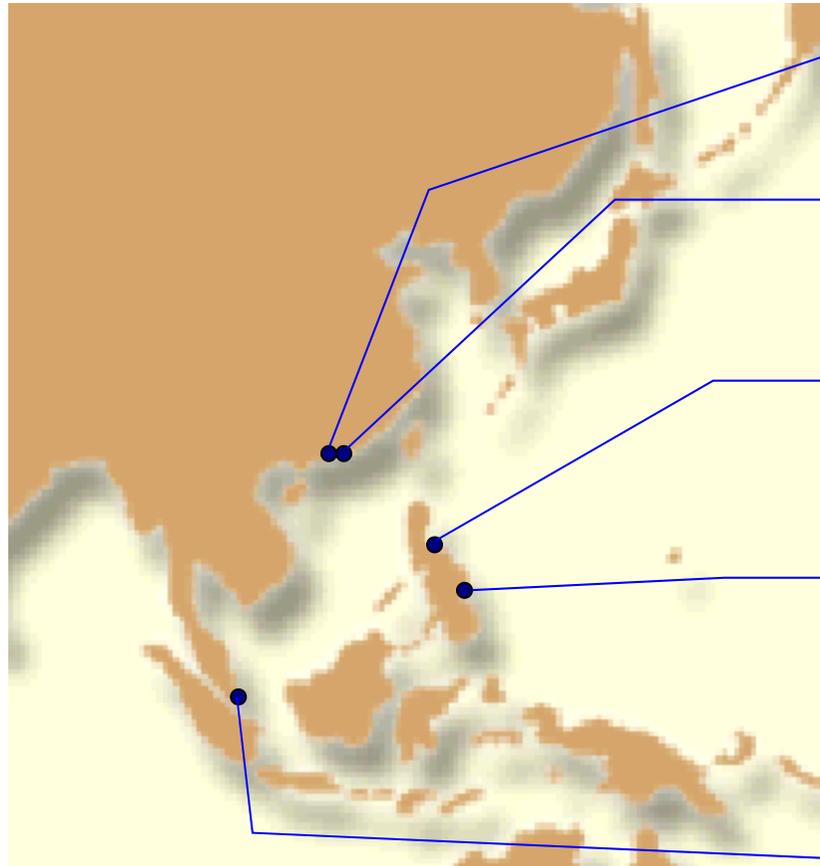
山梨県上野原市上野原8154-19  
TEL.0554-62-5111 FAX.0554-63-4193

・塩山工場

山梨県甲州市塩山熊野666  
TEL.0553-32-1111 FAX.0553-32-1159

・下田工場

静岡県下田市加増野字大古隅12-1  
TEL.0558-28-1550 FAX.0558-28-1552



▪ **ZHONGSHAN ENOMOTO Co.,Ltd.**  
広東省中山市火炬開發区逸仙工業区  
TEL.+86-760-8533-5111 FAX.+86-760-8533-5113

▪ **ENOMOTO HONG KONG Co.,Ltd**  
香港九龍梳士巴利道3号星光行1805室  
TEL.+852-2199-7848 FAX.+852-2199-7918

▪ **ENOMOTO PHILIPPINE MANUFACTURING Inc.**  
PEZA-Gateway Business Park Javalera Gen.Cavite Philippine.  
TEL.+63-46-433-0263 FAX.+63-46-433-0264

▪ **ENOMOTO PHILIPPINE MANUFACTURING Inc.**  
**CEBU OPERATIONS**  
Cebu Light Industrial Park, Special Economic Zone, Washington Road,  
Basak, Lapu-Lapu City, Cebu, Philippines 6015  
TEL.+63-32-341-2223 FAX.+63-32-341-2228

▪ **ENOMOTO PRECISION ENGINEERING(S)Pte.Ltd.**  
30Loyang Drive,Singapore 508945  
TEL.+65-6542-4542 FAX.+65-6542-2484

## 注意事項

事業の展望、業績予想等の将来の動向にかかる記載につきましては、歴史的事実ではないため、不確定な要素を含んでおります。

現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があることをご了承願います。

ENOMOTO Co.,Ltd.